



ごみ減量・リサイクル  
推進啓発キャラクター  
メビウスちゃん



●編集・発行 仙台市環境局家庭ごみ減量課  
●電話 214-8226

### あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

仙台市環境局からのお知らせ	1 P
アレマ隊員にインタビューしました	2 P
ワケルくんの五つ星☆集積所診断	
プラスチック資源の一層の分別にご協力をお願いします	3 P
ご家庭の省エネ・脱炭素を支援しています	4 P

問：環境共生課 214-0013



夏は山中に餌が少なく、クマの行動範囲が住宅地付近まで広がることがあります。また、クマは雑食のため、生ごみに引き寄せられることもありますので、屋外に長時間生ごみを放置することは避け、ごみを出すときは臭いがもれないよう気を付けましょう。

クマは、早朝や夕方に活発に活動します。目撃情報のある地域では、朝のこみ出し時や登山やハイキング等にお出かけの際は、鈴やラジコを携帯しましょう。万が一クマに出合った場合には慌てず、向き合ったままゆっくり後退してください。

なお、クマに関する情報は市ホームページ(サイト)内検索で「ツキノワグマ対策」と検索)をご覧ください。



ツキノワグマ⇒  
対策のページは  
こちらから

問 せんだい 3.11 メモリアル交流館 390-9022

■入館料 無料

■休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日(土・日曜日、祝日を除く)

■開館時間 午前10時～午後5時

■展示場所 せんだい 3.11 メモリアル交流館 2階展示室

### ◆夏のクマに注意!



仙台市環境局  
かたのお知らせ

〈企画展〉  
3.11 現場の事実×心の真実『生活の、あとと、先』と災害

◆7月31日(木)迄! 3.11 現場の真実×心の真実、企画展を実施しています

災害時に欠かせない、「廃棄物処理」。「ごみ」となった「もの」はどこへ行くのか。東日本大震災後の記録や、現場を担当した仙台市職員らの言葉から、ごみと災害について考える企画展です。(詳しくは同封のチラシをご確認ください。)

### ご家庭の省エネ・脱炭素を支援しています

本市では、ご家庭における地球温暖化対策につながる取り組みに対して、様々な補助制度や支援などを実施しています。

#### ●せんだい健幸省エネ住宅補助金

おうちを新築・全体改修・部分改修する方向けに断熱工事費用の一部を助成する補助制度(部分改修する方で蛍光灯や白熱灯からLED照明への交換工事をする場合、追加の補助あり)

補助上限額：新築310万円・全体120万円・部分35万円

#### ●V2H充放電設備設置費補助金

電気自動車等への充電と電気自動車等から住宅に電力を供給できるV2Hシステムを導入する方向けに費用の一部を助成する補助制度(太陽光発電設備の連携が必要)

補助上限額：20万円

#### ●初期費用ゼロ太陽光発電システム導入支援

月々の電気代と変わらないサービス料金を支払うことで、高額な初期費用なしで太陽光発電システムを導入可能。市から事業者への補助により利用者の負担を軽減する制度

補助上限額：95万円(太陽光70万円 蓄電池25万円)

#### ●太陽光パネル・蓄電池の共同購入

太陽光パネルや蓄電池の購入希望者を募り一括発注することで、市場価格より低価格で購入できる制度

#### ●省エネ家電買い替えキャンペーン

市内の店舗で、省エネ性能が高い家電への買い替えを行った方に、抽選で景品が当たるキャンペーン

買い替え対象期間：令和7年6月1日～10月31日(応募締切11月14日 必着)

省エネ性能：冷蔵庫★3つ以上、エアコン★2.5以上

その他の要件や申請方法など詳しくは市ホームページ「おうちのエコトク」で検索いただくか、お問い合わせください。

なお、いずれも予算の限りであり、早期に終了する場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。

問 脱炭素政策課 214-8682



# 五つ星☆集積所診断

## 令和7年度募集案内



ごみの分別状況や集積所の管理状況を環境局職員がプロの目で診断し、優秀な成績を挙げた集積所は「五つ星集積所」として認定します。

診断の結果、栄えある五つ星に認定された集積所に対し、認定証と併せて、清掃用具（ほうき、ちりとり）を贈呈いたします。

「うちの集積所は掃除が行き届いていて、ごみの出し方にも自信あり！」という団体は、ぜひ診断の申し込みをお願いします。

- 対象/町内会等 各区10団体程度〔先着〕 1団体集積所3ヵ所まで
- 申し込み期間/11月28日（金）まで
- 申し込み先/各区の環境事業所へお電話ください



**令和6年度は16町内会30集積所で五つ星集積所を認定！**

五つ星認定を受けた町内会の皆さまの声は、市ホームページに掲載しています。また、過去の認定履歴も掲載していますので、お時間のあるときにご覧ください。

↓市ホームページURL

<https://www.city.sendai.jp/haiki-shido/kurashi/machi/genryo/gomi/shusekijo/shindan.html>

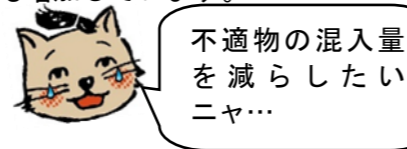
二次元コードはこちら→



## プラスチック資源の一層の分別にご協力をお願いします

仙台市では、令和5年4月より、プラスチック製容器包装に加え、ハンガー等の製品プラスチックの一括回収を開始しています。市民の皆さまによる分別のご協力により、プラスチック資源の収集量は一括回収開始前と比べて増加していますが、それに伴いプラスチック以外のものの混入量も増加しています。

また、家庭ごみの中には、まだプラスチック資源が多く含まれています。引き続き、資源を無駄にしないよう一層の分別・リサイクルにご協力をお願いします。



ワケ猫ちゃん

### プラスチック資源として出せないもの（例）

#### 小型充電式電池を使用した製品

本体から容易に電池・バッテリーを取り外せないものは、そのまま「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」と同様に回収容器へ直接入れてください。

#### 注射器・点滴バッグ・チューブなど

注射針（ペン型自己注射器を含む）などの鋭利な物は、かかりつけの医療機関に返却してください。点滴バッグやチューブなどはビニール袋などで密閉して「家庭ごみ」として出してください。



## アレマ隊員にインタビューしました

「アレマ隊」とは「ポイ捨て」の現場を見たら「アレマ！」と驚き、ごみ拾い活動をする事で、「ポイ捨て反対！」の意思表示を行う人たちのことです。

今回は、「アレマ隊」として活動されている方のインタビューをご紹介します。

### NPO法人ワンファミリー仙台

2002年から、仙台市を拠点に住居支援を起点とした生活・就労・自立支援を行っているNPO法人ワンファミリー仙台。支援を通じて、人と地域のつながりを育み、誰もが「生きていてよかった」と思える社会を目指して活動しています。

そんな団体の代表に、20年以上続けている地域清掃活動について伺ってみました。



理事長  
立岡 学さん

宮城県出身。趣味は、出張先でおいしいものを見つけること。

— 20年以上もごみ拾い活動を続けていると伺いましたが、きっかけはどのようなことだったのですか。

立岡さん：きっかけは私たちがサポートしている路上生活をしている人たちの「朝食を食べることができれば、その日を生きることができると」という声を耳にしたことでした。また、社会とのつながりを絶たれ、孤立している状況を見ていましたので、一緒にまちをきれいにすることで、何らかのつながりを感じられたらいいのではないかと考えました。現在も活動終了後には、朝食としておにぎりやお弁当を渡しています。

最初は試行錯誤の連続でした。路上生活者がまちを掃除するという事自体、周囲から驚かれることもありましたが、しかし、定期的に顔を合わせることで、互いに支え合う関係を築くことができたのではないかと考えています。

— 活動の内容を教えてください。

立岡さん：毎週水曜日の朝7時30分に仙台駅西口に集合して出発し、8時30分まで繁華街を中心にごみを拾い集めます。終点は、私たちの事務所の近くにある榎木公園です。参加人数は20人前後です。

— 今後の目標をお聞かせください。

立岡さん：まちにポイ捨てされたごみがなくなり、住む場所がなくて困る人がいなくなれば、私たちの役目は終わります。しかし、そうならない限りは、粛々とこの活動を続けていきたいと思っています。

私たちはこれからも、仙台のまちと、まちの課題を他人ごととせず、自分ごととして捉える人が増えることを願って、NPOの活動もごみ拾いの活動も続けていきます。



アレマ隊について、詳しくは左の二次元コードからご確認ください。

問：家庭ごみ減量課 214-8250